２　地理歴史・公民

学校番号	１０８

平成３１年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	５単位	年次	３
使用教科書	「地理Ｂ」（二宮書店）・標準高等地図（帝国書院）						
副教材	新詳地理資料 COMPLETE２０１８（帝国書院）						

１．担当者からのメッセージ

・地図に親しむ。地図帳を開く習慣を身につける。地形図で住んでる地域について概観しよう。

・われわれが普段、食べているもの・使っているものの材料・製造について関心をもつ。

・歴史的な知識も、文化を理解する上で必要不可欠。

・世界各地の文化（衣食住）について、その特徴を調べてみよう。

・都市の構造（繁華街・官庁街・オフィス街・住宅街など）について、普段から意識してみる。

２．学習の到達目標

・エネルギー資源・鉱産資源の分布とその多くを使用している国について知識を深める。
・地域ごとの鉱工業の特徴について理解し、各国の工業化の現状や貿易の特徴を考える。

・限りある資源の利用・新エネルギーについて考える。

・工業の発展過程とともに、地域性、資源とのつながりなどから、主な国ごとの特徴を理解する。

・都市構造を理解することで、現在の都市のかかえる問題点や改善点を考える。

・国際理解を深めることで偏見や誤った理解をなくし、国際社会について主体的に考え、行動できる資質を養う。

３．学習評価

観点	ａ．関心・意欲・態度	ｂ．思考・判断・表現	ｃ．資料活用の技能	ｄ．知識・理解
観点の趣旨	系統地理の観点から、産業別に学習することで、現代世界の諸課題に対する現状理解と問題意識を高める。深く理解しようとする気持ちと、国際社会の中で日本の立場とどのようなことができるかを考える。	さまざまなデータからその特徴と問題点を読み取る思考力を身につける。地域性を踏まえて多角的に考察し、国際社会の変化について常に知識を深め、偏見や先入観を持たず、多様な価値観を認める。	資料集だけでなく、インターネット等を利用して、統計、動画、画像などの地理資料を収集し、適切・有用な情報を選択、活用できる。現代世界の地理的理解を深めるとともに、日々変化する状況を理解する。	産業面での現状と地理的な諸課題、および、都市構造・都市問題・人口問題など現代の人々の暮らしなどについて、基本的な内容を理解し、さまざまな場面で活用できる。
評価方法	地図作業 レポート 授業プリント	地図作業 定期考査	定期考査 回実施）	定期考査
		〔主題学習〕 レポート 夏期課題	〔主題学習〕 レポート 夏期課題	

上に示す観点に基づいて、学習単元ごとに評価し、学年末に５段階の評定を出す。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価を行う。

４．学習の活動

学期	単元名	学習項目	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第1節 農林水産業	１農業地域の形成条件 ２人口希薄地域での農業 ３人口が多いアジアの農業 ４商業的性格の強い農業 ５世界農業の動向 ６世界と日本の水産業 ７世界の食料問題	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	○ ○ ○	○ ○	a, b:農業立地の成立要因について自然環境、社会、市場との距離、経済水準、国家政策の側面から理解を深め、農業を分類して理解する a, b:世界の農業・漁業・林業に関する地域的特性や分布，成立要因に着目し，それぞれの特色や変容について、2年次に学習した気候との関連性に重点を置いて考察する。 b, c:世界の農業・漁業・林業に関する分布図や統計資料を収集、適切なものを選択・活用する。またその特色や変容について分析する方法にきづく。 a, b, c:現代世界の食料事情について調べ、現代の食料に関する問題を積極的に理解する。 c, d 現代世界の食料問題について，具体的な事例をもとに，世界的視野から捉え理解する。	・提出課題 ・ノート提出 ・小テスト ・定期考査
	第2節 資源・エネルギー	１生活と産業をささえる資源・エネルギー ２世界のエネルギー資源 ３世界の原料資源 ４資源・エネルギーをめぐる課題	○ ○ ○ ○	○ ○ ◎ ◎	○ ○ ○ ◎	○ ○ ○	a, d:暮らしを支えるエネルギーの重要性，需要の高まりより生じる問題点について理解を深める。 a, b, d:石油，石炭などの化石燃料を事例にエネルギー生産と消費の偏在性やそれに伴い生じる課題について考察する。 b, c, d:暮らしをささえる資源・エネルギーの特徴について理解し、偏在や枯渇，安全性等の点から、資源・エネルギーに関する課題を考える。 a, b, c:資源・エネルギーに関する分布図や統計資料を活用し，その特色や変容について分析する。 a，ｃ：鉱産資源の産地やその利用について学習するとともに、国際的な輸出入の状況も理解し、工業分野の学習につなげる。 a，ｃ：エネルギー資源の利用や消費について学習するとともに、持続可能な成長という面から、新しく研究・開発され実用化を目指しているエネルギーについて調べる。 ｂ、ｄ：原子力発電が石油代替エネルギーの筆頭にあげられる理由とともに，原発がもたらす問題点について理解を深める。	・提出課題 ・ノート提出 ・小テスト ・定期考査
2学期	第3節 工業	１世界の工業の成り立ち ２工業の立地		◎ ○	○	○ ○ ○	ｃ，ｄ：世界諸地域の工業の特徴・工業地域等への基礎的な知識を身につけるとともに、その歴史的な変化などへの理解も深める。 ｂ，ｄ：世界の工業の立地や特徴・グローバル化に伴う変化に関して、ネットなどを利用して調べる。また、現代の課題について考える。 ｂ，ｄ：工業立地の条件がどのように類型化されるのか理解を深めるとともに，立地の変化要因とそれによって生じる問題点を考える。	・提出課題 ・ノート提出

2学期	第3節 工業	３世界の工業と工業地域 ４グローバル化する工業生産と多国籍企業	○	◎ ○	◎ ○ ○	○ ○ ○	b，ｃ：工業に関する統計資料から、さまざまな特徴を読み取り、変化や今後の問題点を考察する。 ｂ，ｃ，ｄ：先進国と東・東南アジア，BRICsにおける工業地域の分布とその変化について理解を深める。 ｃ，ｄ：自動車工業とエレクトロニクス産業を例に多国籍企業による工業立地の特徴について理解を深める。 a，ｄ：先進国と発展途上国それぞれにおける新しい産業の集積の特徴について理解を深める。	・小テスト ・定期考査
	第1節 人口	１世界の人口分布と人口増加 ２人口増加地域の人口問題 ３人口減少地域の人口問題	○	◎ ○ ◎	○	○	a，ｂ：人口増加地域と減少地域について，人口構成や推移を分析・考察する学習を通して，それらを系統地理的方法で捉える視点や方法を身につける。 ｂ，ｄ：現代世界にみられる人口の偏在や年齢構成の偏り，都市化の進展等に起因する問題について、地域別に特徴を理解し、どのような背景があるのかを考察する。 ｂ，ｃ：人口ピラミッドや分布図，推移グラフ等，世界の人口に関する統計資料を活用し，分布や動向等を分析し考察する技能を身につける。	・提出課題 ・ノート提出 ・小テスト
	第2節 村落・都市	１村落の成り立ちと機能 ２都市の発達と形態 ３都市の拡大と都市圏 ４都市・居住問題と解決への努力	○ ○ ○	○ ○	◎ ○	○ ○ ○ ○	ａ，ｃ，ｄ：世界の村落・都市に関する分布や成立要因、発展過程に着目し、具体的事例を地図帳などを利用して考察する。 a，ｃ，ｄ：都市構造について理解し、世界の大都市がかかえる諸問題について、その現状と対策について興味を持って調べる。 ｂ，ｄ：村落・都市形態の特徴や変化について具体的な事例を通して考察し，世界の村落・都市の分布や動向に関する基礎的・基本的な知識や概念を習得する。 ｂ，ｄ：産業面でみた場合、主な機能による都市の分類について理解を深め、地域性・歴史的発展過程の差による世界各地域の都市の差異について考える。 a，ｂ：発展途上国と先進国の居住・都市問題について関心をもち，積極的に理解する。	・定期考査

3 学 期	第3節 地図の活用	１地図の利用 ２地形図の利用と生活地域のハザードマップ	○ ○ ○	 ○	◎ ○	○ ○	a，ｄ：地図の種類と利用について関心と課題意識を高める。 a，ｃ：地形図作業によって、地図への関心を高め、ハザードマップや地域への関心を高める。 ｃ，ｄ：地形図の表現方法を学習し，作業や読み取りを通して，基本的な読図の技術を身につける。 a，ｂ：身近な地域の地形図から、地形的特徴、歴史的な遺跡、改善できる問題点について考察する。	・提出課題 ・ノート提出

※表中の観点ついて　ａ：関心・意欲・態度　　ｂ：思考・判断・表現
　　ｃ：資料活用の技能　　ｄ：知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。